



令和元年7月15日
第823号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
振替 00160-6-25389
編集 発行人 盛川英治
毎月1回15日発行
定価 1部130円(税込)

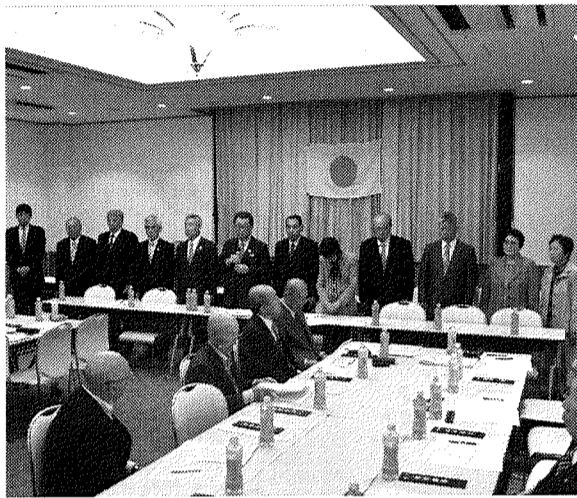
日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

評議員会 任期満了で役員改選 新役員が全会一致で決定

日本遺族会は六月十日、第十回評議員会、第十八回理事会を東京千代田区の靖国会館で開催した。第十回評議員会では、評議員の一部改選、理事の選任、平成三十年度計算書類等が諮られ、何れも承認された。第十八回理事会では、任期満了に伴う役員改選が行われ会長、副会長等新役員が全会一致で決定した。



第10回評議員会で挨拶に立つ水落敏栄本
会長 = 6月10日、靖国会館で



第18回理事会で新役員が決定し、代表して挨拶する
水落会長 = 6月10日、靖国会館で

第十回評議員会は午後一時に始まり、水落敏栄本会長(参議院議員)の挨拶の後、議長に静岡県の大石功氏が選出され、議長が進められた。はじめに評議員の一部改選、理事の選任が諮られ、何れも原案通り承認された。その後、平成三十年度計算書類等について諮られ承認された。また、英霊顕彰・処遇改善運動の経過並びに運動方針、令和二年度政府予算

第十回評議員会では、第十八回理事会では、議長に狩野安理事が選出され、任期満了に伴う役員改選について審議された。また常務理事の選定について諮られ決定した。さらに名譽顧問、顧問が推薦され、会長が委嘱した。新役員は次のとおり(敬称略)

会長	水落 敏栄	専務理事	畔上 和男
副会長	宇田川 敏雄	常務理事	永澤庄一郎
同	市來健之助	狩野安、山田大、國政隆	
名譽顧問	古賀 誠	昭、山下裕子、須賀宏江	
同	尾辻 秀久	監事	田原政信、
顧問	森田 次夫	池中征司	

理事【本部】水落敏栄、宇田川敏雄、畔上和男、狩野安、須賀宏江【北海道】谷口達夫【岩手】甘竹勝郎【宮城】永澤庄一郎【山形】高橋千蔵【神

日本遺族政治連盟は、六月十日東京・靖国会館で代議員会及び理事会を開催した。代議員会では、平成三十年度の事業実施や第十九回統一地方選挙結果、第二十五回参議院議員通常選挙・選挙区選出候補者の本連盟第一次推薦について報告後、平成三十年度の決算、令和元年度予算の第一次補正、第二十五回参議院議員通常選挙・比例区候補の支援体制について審議し、それ

また理事選では、役員改選について審議し、理事長、副理事長、常任理事、監事、理事、代議員の新執行部が了承された。

本会事務局で
人事異動
本会事務局では、六月十日付で人事異動を発令した。(敬称略)

▼事務局長 盛川英治

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料/1,560円 (1年間12回 税金・送料込)

お申込み
日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

拡大一心会の活動開始 遺児の国会議員で組織

昭和五十八年、国会の場で、戦没者遺族の声を反映しようとする戦没者の遺児の国会議員でつくった「一心会」は、去る六月五日、次世代へ活動をつなげるため、戦没者の孫の衆参国会議員五人を新たにに加え、拡大一心会として活動を開始した。

拡大一心会の議員の方々は次の通り。(敬称略) 尾辻秀久、野村哲郎、水落敏栄の各参議院議員 新会員 藤義孝(埼玉県)、秋葉賢也(宮城県)、御法川信英(秋田県)【参議院】松村祥史(熊本県)、渡辺猛之(岐阜県)

靖国神社の夏の風物詩
7.13~7.16
みたままつり

声なき声

令和元年6月29日、靖国神社が創建されてから丁度150年を迎えた。この記念すべき年を迎えるにあたり靖国神社は3年前から「靖国神社御創立百五十年記念事業」を計画し、本殿や外苑の改修工事を進めている。この事業で特筆すべきは、参拝者を本殿に導く「いざない」プロジェクトの「さくら陶板」である。桜は英霊の象徴でもあり、その桜を47都道府県の代表的な陶工が御英霊に縁のある故郷の土を用いて、桜をモチーフとした陶板を制作し、記念碑として完成させている。▼冬真つ只中の1月、沖縄県に寒緋桜が開花して春を告げ、桜前線は日本列島を北上する。そして5月中旬、北海道稚内にて蝦夷山桜が咲き誇る。御英霊も靖国の杜でさくら陶板に故郷のにおいを感じ、五弁の花びらで地元の桜を思い出し、花見を楽しんでいたと想像することだろうか。

▼西部ニューギニア地域での遺骨収集事業が再開されることが決まった。西部ニューギニアは約5万3千人が戦没され、これまで3万3千430柱のご遺骨が日本に帰っている。しかし、インドネシア政府との覚書の期間が終了したことから収集事業が停止していた。今回、安倍総理大臣をはじめ、関係者の方々の外交努力に感謝申しあげたい。(M)

また理事選では、役員改選について審議し、理事長、副理事長、常任理事、監事、理事、代議員の新執行部が了承された。

旅が、 未来の わたしを つくる。

www.tobutoptours.co.jp

東武トップツアーズ

TOBU TOP TOURS

東京法人東事業部 第2営業部 担当: 櫻井・高橋

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-10-5
住友生命茅場町ビル2階
TEL.03-6667-0592 FAX.03-6667-0564

慰霊大行進を実施

6月23日の「慰霊の日」

戦 戦 戦 終 終 終 74年

二十万余の住民が地上戦に巻き込まれ、尊い命が失われた沖縄県は六月二十三日、七十四年目の慰霊の日を迎えた。三十年振りに雨が降る中県内各地では、戦没者の冥福を祈る慰霊行事が執り行われた。日本遺族会は沖縄県遺族連合会と共催で第五十八回平和祈願慰霊大行進を実施し、世界の恒久平和を祈願し、摩文仁へと行進した。



雨の降りしき中、恒久平和を願う最後の激戦地となった摩文仁を目指す大行進団=6月23日、糸満市で

午前八時三十分、雨が降りしき中、本会からの参加遺族七十六人をはじめ県内外から約六百五十人が、糸満市役所前に参集し、第五十八回平和祈願大会が開催された。開会のことばに続き、沖繩戦の犠牲者に対し黙祷が捧げられた。宮城篤正沖繩県遺族連合会会長

が挨拶し、本会を代表して、水落敏栄会長(参議院議員)が挨拶した。次いで戦没者代表による平和アピールが採択され、平和祈願大会は終了した。午前九時、水落会長、古賀誠名誉顧問ら先頭に、団旗を掲げた平和行進団は、最後の激戦地と

追悼のことば

本日、ここに沖縄県主催による「令和元年沖繩全戦没者追悼式」が執り行われるにあたり、戦没者遺族を代表して謹んで哀悼の誠を捧げ、諸霊のご冥福を心からお祈り申し上げます。

今年もまた、私達にとって忘れることのできない六月二十三日「慰霊の日」がめぐって参りました。戦没諸霊は、あの激しかった沖繩戦及び外地において、祖国の安泰を願い、家族を案じつつ遂に尊い生命を祖国のために捧げられたのであります。今、霊前に立ち、在りし日を偲び、諸霊に対する追慕の情は、更に深く、新たな痛恨の念が胸に迫ってくることを禁じ得ません。

日本遺族会への賛助金のお願

日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊及好親善事業、遺骨収集帰還等各種事業の活動のために賛助金を募っております。

本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。

郵便振替
001300210994929

みずほ銀行 九段支店
普通預金 09809600

※口座名は「一般財団法人日本遺族会」です。二行のインクカキ

南方四地域で現地調査

未送還遺骨の情報収集

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会(推進協会)が実施している、硫黄島における掘削調査及び海外に未だ残されている遺骨に関する情報収集を行う現地調査に協力している。今回、硫黄島、ソロモン諸島、パラオ諸島、東部ニューギニアの各地域の派遣に

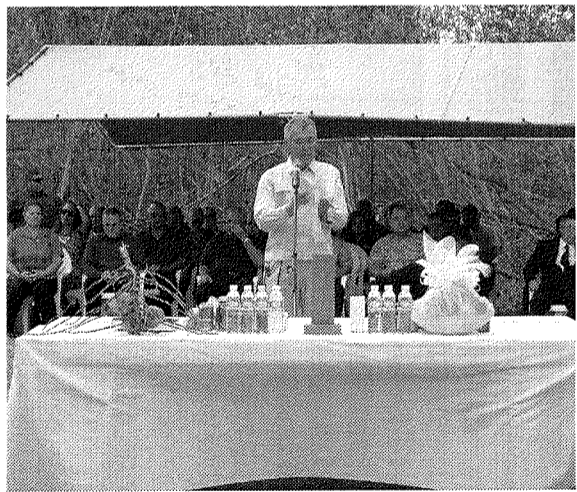
おり、本年度は六月から派遣が始まり三回実施され、本会からも各派遣に一人が参加協力した。ソロモン諸島 ソロモン諸島現地調査 第一次派遣は、五月十八日から六月二日の期間で実施され、ガダルカナル島の丸山道を調査した。派遣団は二つの班に分かれ、一班はタンブー、タノンボハ、シーホース周辺、二班はモカ、タレイイ周辺の第二師団転進経路(丸山道)を徒歩で踏査し、現地住民の協力を得て、埋葬場所等を試掘するとともに試掘箇所でのマーキング及びGPS測位の面的調査を行った。パラオ諸島

マリアナ諸島へ応急派遣

236柱を奉持して帰国 遺骨収集

日本戦没者遺骨収集推進協会は、マリアナ諸島戦没者遺骨収集応急派遣を、五月十三日から二十四日の期間で、サイパン島で実施し、本会からはサイパン島の戦没者遺族二人が参加協力した。派遣団は、平成二十九年度及び三十年度の現地調査で、サイパン島、テナアン島で収容し、北マリアナ諸島歴史保存局に保管していた遺骨を確認するとともに、焼骨のために遺骨に付着している土砂を除去する洗骨作業に従事した。

二十日には、バナデル飛行場跡地で焼骨式並び



追悼式で追悼文を読みあげる団員 = 5月20日、サイパン島で

第一ブロック会議開催

特別委員会の答申にむけ議論

六月十八、十九日の両日、福島県磐梯熱海温泉「華の湯」で、道県の遺族会役員ら四十四人が参集して第一ブロック会議が開催された。本会から水落敏栄会長、宇田川勲雄副会長、畔上和男専務理事らが出席した。



▼第10回評議員会 6月10日 詳細は1面に記事として掲載。
▼第18回理事会 6月10日 詳細は1面に記事として掲載。

▼事務局長会 6月11日 ①支部事務局の交代評議員会、第18回理事会の決定事項③事務局長・事務局職員研修会の開催について。

(お知らせ)戦没者遺骨のDNA鑑定の実施について

○厚生労働省では、戦没者遺骨のDNA鑑定について、これまでの遺留品等からご遺族を推定できる場合に、希望されるご遺族について、DNA鑑定を実施し判明した場合、ご遺骨を返還しております。○戦後70年以上を経過し、ご遺族が高齢化している事を踏まえ、平成29年度より、沖縄県の10地域で収容されたご遺骨についてご遺族からの申請を募り、厚生労働省保管資料や申請された死亡場所等の情報に基づき、ある程度戦没者遺族とのつながりが確認できる場合に、DNA鑑定を実施しております。 ※10地域の名称 真嘉比(那覇市)、幸地(西原町)、大里宇高平(南城市)、経塚(浦添市)、前田(浦添市)、伊原(糸満市)、米須(糸満市)、喜屋武(糸満市)、真壁(糸満市)、具志頭須武座原(八重瀬町) ○詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。 「掲載先 戦没者遺骨のDNA鑑定について」 <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000172647.html> ○お問い合わせ先 厚生労働省社会・援護局事業課調査第一係 代表電話 03-5253-1111(内線3482) 直通電話 03-3595-2219